

# 「翼賛体制」づくり許さず党躍進を

参院選勝利へ近畿いっせい宣伝が10日、近畿2府4県で取り組まれ、381カ所で、13.3%の党支部、1436人、240議員が参加、1万5376枚のピラを配布し、「自公と維新による改憲、暮らし破壊の『翼賛体制』づくりを許さず、日本共産党の躍進で安心と希望の日本を」と訴えました。



◆大阪 たつみコータロー前参院議員が大阪市福島区の阪神野田駅前でもコロナ感染対策の拡充を訴え。維新の労働法制緩和策を批判し「国民に自己責任を押し付けて非正規雇用を増やす政治を切り替えましょう」と話しました(写真)。カジノ署名が12府で集まりました。清水忠史前衆院議員はJR寺田町駅前でも9条改憲反対、全国署名への協力を訴えました。

「日曜版」を配布 JR茨木駅東口では日曜版宣伝紙を26部配布。「ピラより受け取りがいい」の反応。河南地区では日曜版宣伝紙を2カ所で30部配布しました。

◆京都 高校生に「はてなリーフを」配布 中丹地区は高校生向け駅頭宣伝として取り組み、JR福知山駅南口では3校の受験生がたくさん受け取ってくれました。左京区・熊野神社前では信号待ちの間ずっとピラを読んでいた若者がいました。

◆兵庫 こむら潤・選挙区候補は三宮駅前でも無料のPCR検査拡充、検査キット確保などを政府に要請したことを報告。男女の賃金格差や非正規雇用の7割が女性であることを示し、「あなたが大切にされる社会を」と訴えました。

◆滋賀 大津市の京阪びわ湖浜大津駅前でも節木三千代県議、柏木敬友子市議が宣伝。「コロナから命と暮らしを守るため力を合わせて頑張ります」と訴え。

◆和歌山 JR和歌山駅前でも井本有一和歌山市議が、県が進めているカジノ誘致について「県民の不幸の上に成り立つカジノは和歌山市にも全国どこにもいらない」と訴えました。

奈良

## 大門さん 北野選挙区候補と訴え

大門みきし参院議員(比例)は10日、参院奈良選挙区候補に発表された北野いつ子前大和郡山市議とともに近鉄奈良駅前でも訴え。「新自由主義が進んで賃金が上がらない国、パンデミックに弱い社会になってしまった」と指摘。人を大事にする「やさしい経済」でこそ購買力が上がり、景気を良くする「強い経済になる」と力説し、政治の大本転換、参院選での日本共産党躍進で政権交代の足掛かりをと強調しました。

子育て中の北野候補は子どもたちへのコロナ感染拡大の実態に触れ、「PCR検査の拡大、保健所・医療体制の強化」を訴えました。



## 大門さん、作家・寮さんと懇談

大門さんは10日、奈良市在住の作家・寮美千子さんを訪ね懇談。平城宮跡開発、京奈和道の地下化、旧奈良監獄の保存、絵本などたっぷり3時間語り合いました。懇談は大門さんのリーフに寮さんが推薦の言葉を寄せたことから行われたもので、山村幸穂県議が同席しました。



22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 6(2022.2.13)